

令和6年度 一般会計決算附属資料

消防本部 主要な施策の成果

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部			
	項	01 消防費	9,292千円		9,360千円	68千円	99.2 %					
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課			
	事業	02 消防本部総務業務					9,437千円					
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源								
目的	消防業務の企画、調整、施設の管理及び職員の被服等貸与並びに安全衛生管理等を行い、円滑な業務遂行を図る。											
主要な事務・事業の概要	○旅費 ・消防長会、消防学校、京都府主催会議等				447千円		○使用料及び賃借料 ・コピー機借上料、有料道路通行料等				451千円	
	○交際費 ・消防長交際費				45千円	○備品購入費 ・防火服（4着）				1,364千円		
	○需用費 ・事務消耗品、職員被服等貸与品、図書、仮眠寝具購入等				4,088千円	○負担金 ・全国消防長会会費、全国消防協会会費等				393千円		
	○役務費 ・電話料金、郵便料金等 ・仮眠寝具クリーニング代、各種申請手数料等 ・各種保険料（ドローン・救命ボート）				1,744千円 1,345千円 272千円 127千円							
	○委託料 ・B型肝炎予防接種、健康診断委託料等				760千円							
						成果・課題	○消防長会、府立消防学校等、消防・防災関連会議等への出席、事務用品やコピー代、電話代等を支出した。また、新規採用職員貸与被服の購入、及び消耗の著しい防火服等の更新を行った。 ○24時間体制での運用が必要な常備消防活動を維持するため、引き続き消防職員の健康管理及び安全管理を適切に行う必要がある。					

予算科目目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部																
	項	01 消防費	3,332千円		3,356千円	24千円	99.2 %																		
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課																
	事業	03 救急救命士養成業務					3,356千円																		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源																					
目的	医師の指示の下、救急車内等で処置ができる救急救命士を計画的に養成するとともに、気管挿管及びビデオ硬性喉頭鏡を用いた気管内チューブによる高度な気道確保が可能な認定救命士を養成し、救命率の向上を図る。 また、救急救命士病院研修の実施、病院前救護の質の向上を目的とした指導救命士の養成を行う。																								
主要な事務・事業の概要	○救急救命士養成派遣経費（救急救命東京研修所 1名）		2,382千円		【令和6年度養成】																				
	・旅費		276千円		・救急救命士：1人																				
	・救急救命士養成派遣負担金		2,106千円		・気管挿管認定救命士：1人																				
					・気管挿管（ビデオ硬性喉頭鏡）認定救命士：3人																				
					（参考）救急救命士数（令和7年3月末現在）（単位：人）																				
	○委託料		540千円		<table><tr><td colspan="2"></td><td>運用</td><td>運用以外</td><td>合計</td></tr><tr><td colspan="2">救急救命士数</td><td>26</td><td>6</td><td>32</td></tr><tr><td></td><td>指導救命士</td><td>2</td><td>1</td><td>3</td></tr></table>							運用	運用以外	合計	救急救命士数		26	6	32		指導救命士	2	1	3	
			運用	運用以外	合計																				
	救急救命士数		26	6	32																				
		指導救命士	2	1	3																				
	○負担金		410千円		<table><tr><td rowspan="4">認定状況</td><td>気管挿管認定</td><td>14</td><td>5</td><td>19</td></tr><tr><td>薬剤投与認定</td><td>26</td><td>6</td><td>32</td></tr><tr><td>ビデオ硬性喉頭鏡認定</td><td>6</td><td>0</td><td>6</td></tr><tr><td>処置拡大認定</td><td>26</td><td>5</td><td>31</td></tr></table>					認定状況	気管挿管認定	14	5	19	薬剤投与認定	26	6	32	ビデオ硬性喉頭鏡認定	6	0	6	処置拡大認定	26	5
認定状況	気管挿管認定	14	5	19																					
	薬剤投与認定	26	6	32																					
	ビデオ硬性喉頭鏡認定	6	0	6																					
	処置拡大認定	26	5	31																					
・気管挿管実習負担金		300千円																							
・ビデオ硬性喉頭鏡病院実習負担金		110千円																							
				成果・課題	○救急救命士による救命処置により、市民の安全・安心に寄与できた。 ○計画的な救急救命士の継続養成は不可欠であり、気管挿管など、より高度な救命処置を行うことができる認定救急救命士の養成が必要である。 ○令和6年度は救急救命士1人、気管挿管認定救命士1人、ビデオ硬性喉頭鏡認定救命士3人の養成が実施できた。 ○世代交代を見据え、指導救命士の養成が必要である。次年度以降の養成派遣に向け人材育成に務める。																				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部		
	項	01 消防費	2,132千円		2,162千円	30千円	98.6 %				
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課		
	事業	04 消防学校等研修派遣業務					2,612千円				
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源							
目的		複雑多様化・高度化する消防業務に対応するため、より専門的な講習会、研修等に参加し、最新の技術や知識を学び職員の資質向上を図る。 また、消防活動上必要な各種資格を取得し、能力の向上に努める。									
主要な事務・事業の概要	○旅費		741千円		予防技術検定受験料					2人	
	・府立消防学校専科等研修、研究会等		589千円		潜水士受験料					1人	
	・各種資格取得、講習会		152千円		玉掛け、小型移動式クレーン資格取得					2人	
					無線従事者養成					1人	
	○委託料		66千円		潜水技術研修派遣					1人	
	・バス運転委託料				酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能					1人	
					フルハーネス型墜落制止用器具特別教育講習会					2人	
	○使用料及び賃借料		106千円		伐採等業務従事者特別教育					2人	
	・有料道路通行料		101千円		テールゲートリフター特別教育講習会					2人	
	・駐車場使用料		5千円		・大型自動車免許取得補助金（1人分、補助率1/3）					81千円	
○負担金、補助及び交付金		1,219千円									
・府立消防学校専科等研修、各種講習会等受講負担金		1,138千円		成果・課題	○各種専門教育課程は、オンライン授業を含めながら実施され、受講者が持ち帰った技術、知識を研修会等で職員へフィードバックすることができた。 ○最新の専門的な技術・高度な知識を学び、複雑化する各種災害に対応していくため、各種講習会等の受講を継続していく必要がある。 ○大型の緊急車両運行のため、引き続き大型自動車免許取得に際し助成を行う。						
府立消防学校総合教育派遣		2人									
府立消防学校等各種専科（救助科、警防科等）教育派遣		8人									

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	4,029千円		4,056千円	27千円	99.3 %		
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	05 予防・警防等業務					3,490千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	手数料 消防手数料 744千円				
					諸収入 防火管理者資格取得講習料 148千円				
目的	各種事業所への立ち入り検査、防火管理指導を積極的に行うとともに、住宅用火災警報器チラシ・防火ポスターの作成配布、防火講習会などの火災予防啓発に取り組む。 また、複雑多様化する各種災害における、迅速かつ的確で安全な消防活動を支えるため、資機材及び装備の充実を図る。								
主要な事務・事業の概要	○予防関係経費		543千円		○警防関係経費		3,486千円		
	・防火ポスター表彰記念品（特選1点・入選3点・佳作6点）		8千円		・消耗品（乾電池、備蓄食料等）		595千円		
	※小学4年生対象				・修繕料（消防機械器具、水難救助備品・航空障害灯交換等）		1,274千円		
	・防火管理者講習会テキスト代、広報頒布材購入費等		281千円		・手数料（高圧ガス容器検査手数料、救助器具点検手数料等）		509千円		
	・住宅用火災警報器チラシ（5,000枚）		56千円		・ヘリポート除草作業委託料		696千円		
	・防火ポスター印刷費等（900枚）		55千円		・訓練用車両借上料		30千円		
	・通信運搬費（郵便代）		56千円		・救助活動関係備品購入費（水難救助潜水用具）		381千円		
	・原材料費（火災予防工作物等）		87千円		・ヘリポート航空用灯火負担金		1千円		
					成果・課題	○予防業務では、事業所への防火管理指導のほか、各種予防運動期間にチラシ配布、街頭広報などを行い、市民に対し防火啓発を行った。 ○住宅用火災警報器については、全世帯訪問5か年計画の4年目となり、全戸訪問を実施した。最終年となる次年度は不在者世帯の再訪問を行い、設置状況や維持管理を含め積極的に普及啓発活動を行う。 ○警防業務では、各種資機材の保守点検を実施したほか、ヘリポート航空障害灯の交換を行った。引き続き各資機材等の計画的な更新・整備に努める必要がある。			

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	7,556千円		7,581千円	25千円	99.6 %		
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	06 救急活動業務					8,723千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	諸収入 救急救命士臨地実習負担金 20千円				
目的	救命率向上のため、救急資機材の整備及び保守管理を行い、救急業務に万全な体制で対応する。 また、救命指示センターの医師と連携を図り、救急救命士が行う救命処置に対する指示、指導及び助言体制の強化や丹後メディカルコントロール協議会を通じた救急活動の事後検証を行い、救急隊員の資質向上に務める。								
主要な事務・事業の概要	○救急管外搬送旅費 36千円				○負担金 120千円				
	○需用費 5,043千円				・丹後メディカルコントロール協議会負担金 120千円				
	・救急活動消耗品費（感染防止衣、マスク、グローブ等） 4,758千円				【救急出動件数】				
	・印刷製本費（救急患者搬送連絡票） 44千円				年 次 出動救急件数 搬送人員				
	・救急活動備品修繕料（自動心臓マッサージ器） 176千円				令和6年 2,907件（前年比 39件減） 2,700人（前年比 54人減）				
	・医薬材料費 65千円				令和5年 2,946件（前年比 81件増） 2,754人（前年比 101人増）				
	○役務費 511千円				令和4年 2,865件（前年比 392件増） 2,653人（前年比 325人増）				
	・毛布クリーニング代、医療産廃処理手数料等 403千円								
	・救急救命士賠償・救急業務賠償責任保険 108千円								
	○委託料 1,846千円								
	・京都市救命指示センター委託料 1,461千円								
	・高度救急医療資機材点検保守委託料 385千円								
				成果・課題	○丹後メディカルコントロール協議会における事後検証を行うことで、適切な救急活動に繋げることができた。 ○指導救命士による救急車同乗実習を行い、現場活動の向上に務めた。 ○公募救急講習（上級・普通）、出前講座による一般救急講習を実施し応急手当の普及、バイスタンダーの育成に務めたが、今後も継続して取り組んでいく必要がある。 ○救急安心センター（＃7119）の利用、及び未然にケガや病気を防ぐ予防救急の促進を図るため、引き続き広報を実施していく必要がある。				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部	
	項	01 消防費	13,550千円		13,590千円	40千円	99.7 %			
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課	
	事業	07 通信指令業務					14,776千円			
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	諸収入 西山中継局電源設備利用負担金 20千円					
目的	365日24時間体制で火災、救急及び救助等の緊急通報を受け付け、出動指令を行う京都府中・北部地域消防指令センターの安定的な運営を図り、市民の安全・安心を確保する。 消防指令センターと緊密に連携する指令伝送ネットワーク及び消防救急デジタル無線等を円滑かつ確実に運用できるよう維持管理を行い、各種災害に対応する。									
主要な事務・事業の概要	○需用費			1,717千円	○負担金					2,268千円
	・ 指令書出力プリンタートナー等消耗品費			693千円	・ 消防救急デジタル無線基地局電気代負担金					229千円
	・ 通信指令施設関係修理、発動発電機始動用バッテリー			1,024千円	・ 京都府中・北部地域消防指令事務協議会負担金					2,039千円
	○役務費			4,991千円						
	・ NTT専用回線料等			4,181千円						
	・ 消防無線法定検査委託料			800千円						
	・ 電話設置等手数料（網野・久美浜・竹野川）			10千円						
	○委託料			4,574千円						
	・ Live119システム運用委託料			693千円						
	・ 自家用電気工作物保安管理委託料			154千円						
	・ 通信指令施設等保守管理委託料			3,067千円						
	・ 消防用気象情報収集装置再検定委託料			660千円						
					成果・課題	○消防救急デジタル無線や気象情報収集装置等の保守管理を適切に行うことができた。 ○京都府中・北部地域消防指令センターにおける、確実な高機能消防指令システムの設定や調整、また指令センター員の聞き取り、操作要領の熟練度を上げることで、市民の安全・安心の確保が図れた。 ○消防指令センターと緊密に連携する指令伝送ネットワーク及び消防救急デジタル無線等は、経年劣化等は避けられないことから、計画的な修繕及び部品交換など、引き続き適切に保守管理を行う必要がある。				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	23,151千円		23,286千円	135千円	99.4 %		
	目	01 常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	08 庁舎等維持管理事業					23,952千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	主な財源	使用料	公有財産使用料				158千円
目的		災害時等に活動拠点となる消防庁舎及び災害対応する消防車両の保守点検等の維持管理を行う。		諸収入	市有自動車損害共済金				21千円
主要な事務・事業の概要	消防庁舎 4署所（峰山本署、網野分署、久美浜分署、竹野川分遣所） 消防車両 20台（救急車5台、ポンプ車4台、指揮支援車1台、救助工作車1台、指令・広報車5台、資機材搬送車1台、事務連絡車2台、軽トラック1台） ○消防庁舎関係経費 13,246千円 ・消耗品費（清掃用品、蛍光管等） 496千円 ・燃料費（灯油、LPガス） 1,330千円 ・光熱水費（上下水道料金、電気料金） 7,327千円 ・修繕料（空調機器、照明器具取替、訓練塔外壁等） 1,843千円 ・ごみ持込処理手数料 16千円 ・委託料（自家用電気工作物、消防設備保守点検等） 620千円 ・清掃用具借上料 193千円 ・工事請負費（本署講堂空調設備更新2台） 1,421千円			○車両関係経費 9,905千円 ・燃料費（ガソリン、軽油等） 5,407千円 ・車検整備、修繕料 3,663千円 ・自動車登録手数料（11台） 209千円 ・タイヤ処分手数料 12千円 ・自賠責保険料 92千円 ・自動車重量税（11台） 522千円					
				成果・課題	○空調機器や照明器具の取替えや、訓練塔、消防庁舎の修繕を含め適切な維持管理ができた。 ○老朽化の目立つ広報車等を含め、緊急車両の定期的かつ計画的なメンテナンスを実施することで、火災・救急・救助等の災害発生に際し、迅速かつ的確な活動を行うことができた。 ○消防庁舎4署所は築30年以上が経過し、各署所とも施設及び設備の経年劣化が見られることから、適切な状態で維持管理をするために、定期的な点検と計画的な更新、修繕等が必要である。				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部																																																																														
	項	01 消防費	89,890千円		89,891千円	1千円	99.9 %																																																																																
	目	02 非常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課																																																																														
	事業	01 団員報酬					106,385千円																																																																																
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源																																																																																			
目的		消防団条例に基づき、階級ごとの報酬を支給する。																																																																																					
主要な事務・事業の概要	○消防団員報酬（団員数1,481人 ※R6.4.1現在）				55,746千円				（参考）消防団員数内訳（各年4月1日現在） <table><tr><td>年 度</td><td>令和7</td><td>令和6</td><td>令和5</td><td>令和4</td><td>令和3</td><td>令和2</td></tr><tr><td>本 部</td><td>15</td><td>13</td><td>14</td><td>16</td><td>16</td><td>14</td></tr><tr><td>峰山方面隊</td><td>300</td><td>302</td><td>312</td><td>314</td><td>315</td><td>315</td></tr><tr><td>大宮方面隊</td><td>234</td><td>240</td><td>243</td><td>249</td><td>259</td><td>258</td></tr><tr><td>網野方面隊</td><td>313</td><td>316</td><td>333</td><td>333</td><td>339</td><td>341</td></tr><tr><td>丹後方面隊</td><td>185</td><td>188</td><td>202</td><td>207</td><td>220</td><td>222</td></tr><tr><td>弥栄方面隊</td><td>176</td><td>177</td><td>181</td><td>183</td><td>189</td><td>192</td></tr><tr><td>久美浜方面隊</td><td>244</td><td>245</td><td>240</td><td>240</td><td>241</td><td>242</td></tr><tr><td>合 計</td><td>1,467</td><td>1,481</td><td>1,525</td><td>1,542</td><td>1,579</td><td>1,584</td></tr><tr><td>条例定数</td><td>1,730</td><td>1,730</td><td>1,730</td><td>1,730</td><td>1,730</td><td>1,730</td></tr><tr><td>不 足 数</td><td>△ 263</td><td>△ 249</td><td>△ 205</td><td>△ 188</td><td>△ 151</td><td>△ 146</td></tr></table>		年 度	令和7	令和6	令和5	令和4	令和3	令和2	本 部	15	13	14	16	16	14	峰山方面隊	300	302	312	314	315	315	大宮方面隊	234	240	243	249	259	258	網野方面隊	313	316	333	333	339	341	丹後方面隊	185	188	202	207	220	222	弥栄方面隊	176	177	181	183	189	192	久美浜方面隊	244	245	240	240	241	242	合 計	1,467	1,481	1,525	1,542	1,579	1,584	条例定数	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	不 足 数	△ 263	△ 249	△ 205	△ 188	△ 151	△ 146
	年 度	令和7	令和6	令和5	令和4	令和3	令和2																																																																																
	本 部	15	13	14	16	16	14																																																																																
	峰山方面隊	300	302	312	314	315	315																																																																																
	大宮方面隊	234	240	243	249	259	258																																																																																
	網野方面隊	313	316	333	333	339	341																																																																																
	丹後方面隊	185	188	202	207	220	222																																																																																
	弥栄方面隊	176	177	181	183	189	192																																																																																
	久美浜方面隊	244	245	240	240	241	242																																																																																
	合 計	1,467	1,481	1,525	1,542	1,579	1,584																																																																																
	条例定数	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730	1,730																																																																																
	不 足 数	△ 263	△ 249	△ 205	△ 188	△ 151	△ 146																																																																																
	○出勤報酬（災害、訓練又は警戒） 年2回に分けて支給				34,144千円																																																																																		
	・災害				6,142千円																																																																																		
	3時間以内の活動：3,000円/回 1,289人				3,867千円																																																																																		
3時間超5時間以内の活動：5,000円/回 255人				1,275千円																																																																																			
5時間超の活動：8,000円/回 125人				1,000千円																																																																																			
・訓練又は警戒：2,000円/回 14,001人				28,002千円																																																																																			

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部														
	項	01 消防費	3,574千円		3,576千円	2千円	99.9 %																
	目	02 非常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課														
	事業	02 公務災害補償費等					3,816千円																
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	諸収入 消防団員公務災害補償金 56千円																			
目的	火災や風水害等での危険を伴う活動に従事する消防団員や住民参加の防火防災訓練に対し、公務上の災害又は訓練の際に発生した事故に損害賠償や災害補償を行う。																						
主要な事務・事業の概要	○災害補償費（公務災害補償） 59千円 消防団員や地域住民が災害現場で活動中に負傷した場合、市消防団員等公務災害補償条例に基づき治療費等を支給する ・公務災害補償費（医療費） 消防団員2人（災害時）			○負担金 3,515千円 ・消防団員公務災害補償掛金 3,465千円 消防団員や地域住民が活動中に受けた災害が、公務上と認められた場合補償を行うための掛金																			
				<table><tr><td>区 分</td><td>人 数</td><td>1人当たり掛金</td><td>金 額</td></tr><tr><td>団 員</td><td>1,730人</td><td>1,900円</td><td>3,287千円</td></tr><tr><td>市 民</td><td>50,860人</td><td>3.5円</td><td>178千円</td></tr><tr><td colspan="3">合 計</td><td>3,465千円</td></tr></table>				区 分	人 数	1人当たり掛金	金 額	団 員	1,730人	1,900円	3,287千円	市 民	50,860人	3.5円	178千円	合 計			3,465千円
				区 分	人 数	1人当たり掛金	金 額																
				団 員	1,730人	1,900円	3,287千円																
市 民	50,860人	3.5円	178千円																				
合 計			3,465千円																				
※団員数：令和5年10月1日現在の条例定数、人口：R2国勢調査人口																							
・防火防災訓練災害補償等共済掛金 50千円 住民参加の防火防災訓練の際に発生した事故に対し、補償を行うための掛金																							
成果・課題	○災害補償掛金を支出することにより、消防団員の公務災害に対応することができた。 ○訓練前の準備運動の徹底などの注意喚起をするほか、消防団員等公務災害補償等共済基金が作成した「負傷防止プログラム」のチラシや動画を活用し、ケガの防止を図った。																						

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	83,326千円		83,326千円	0千円	100.0 %		
	目	02 非常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	03 団員退職報償金					33,216千円		
基本計画	10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	諸収入 消防団員退職報償金 50,110千円					
目的	5年以上在職した消防団員が退職した場合、その労苦に対する慰労金として在職年数や階級に応じて退職報償金を支給するため、消防団員等公務災害補償等共済基金に対し掛金を支払うもの。								
主要な事務・事業の概要	○報償費 50,110千円 ・退職報償金（116人分）								
	○負担金、補助及び交付金 33,216千円 ・消防団員退職報償金掛金 1,730人 × 19,200円 （令和5年10月1日現在の条例定数）								
			成果・課題	非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例に基づき、退職報償金掛金を支出することにより、退職した消防団員に退職報償金を支給した。					

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	57,408千円		57,573千円	165千円	99.7 %		
	目	02 非常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	04 消防団活動運営事業					62,676千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（防災・減災基盤づくり事業）				2,000千円
				諸収入	市有自動車損害共済金				18千円
目的	火災、地震、風水害等において、地域の安全の確保と被害拡大を防止するため、日夜訓練を重ねている消防団員の資質向上や技能習得のために必要な訓練及び活動等のほか、消防車両等を維持管理する。								
主要な事務・事業の概要	○報償費		29,788千円		○使用料及び賃借料		685千円		
	・消防団運営活動謝金		29,507千円		・大型バス借上（京都府消防操法大会、団幹部視察研修）		428千円		
	本部、方面隊、分団、指導員、ラッパ鼓隊、女性消防隊、支援隊				・駐車場使用料、有料道路通行料		52千円		
	・報償物品（表彰状、表彰徽章）		281千円		・会場使用料（出初式）		107千円		
	○旅費		3,138千円		・土地借上料（消防車庫用地、防火水槽用地）		98千円		
	・京都府消防操法大会、団幹部視察研修等				○負担金、補助及び交付金		462千円		
	○需用費		19,336千円		・京都府消防協会支部負担金		255千円		
	・活動服（62着）		1,050千円		・準中型免許等取得補助金（3人、補助率2/3、上限110千円）		207千円		
	・編上靴、脚絆、安全装備品等消耗品		3,004千円		○公課費（自動車重量税）		1,752千円		
	・消防自動車燃料費、修繕料（83台）		12,551千円		【参考】				
・光熱水費（消防車庫等施設）		2,588千円		・第11回京丹後市消防操法大会 開催 R6.6.30					
・印刷製本費（表彰状、「火の用心」ステッカー等）		143千円		・第29回京都府消防操法大会 出場 R6.8.25					
○役務費		1,829千円		・団幹部視察研修R6.11.30～12.1:14人参加（三重県四日市市、愛知県豊明市）					
・筆耕料（定例表彰等）		58千円		成果・課題	○消防団の運営に対する支援や施設設備、車両の適切な維持管理を行うことができた。				
・手数料（ごみ処理、消防ポンプ点検等）		1,443千円			○消防活動の基本技術である消防操法を披露する消防操法大会を開催し、消防団員の技術習得及び士気高揚、団結力の強化を図ることができた。				
・保険料（自賠責保険）		328千円			○団員減少が進む中、消防団活動を持続していくため、部などの組織体制について検討を進めるとともに、消防団員活動の継続を促進するため、訓練や行事に対する負担軽減を継続的に検討していく必要がある。				
○委託料		418千円							
・会場設営委託料（京丹後市消防操法大会）		330千円							
・機器保守点検委託料（AED11台）		88千円							

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	19,458千円		19,458千円	0千円	100.0 %		
	目	02 非常備消防費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	05 消防設備維持管理事業					19,458千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源					
目的		消火活動に必要な消火栓の維持管理費用として、設置数に応じて水道事業会計へ繰り出す。							
主要な事務・事業の概要	○水道事業会計繰出金 (3,243基×6千円／基)				19,458千円				
	【消火栓設置数】								
	峰 山 町		459基						
	大 宮 町		499基						
	網 野 町		604基						
	丹 後 町		377基						
	弥 栄 町		353基						
	久 美 浜 町		951基						
	合 計		3,243基						

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	5,734千円		5,736千円	2千円	99.9 %		
	目	03 消防施設費					(参考)当初予算額	課	総務課
	事業	01 常備消防施設等整備事業					6,439千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	市債 消防自動車整備事業債（過疎対策事業債） 5,600千円				
目的	災害発生時に迅速かつ的確に対応するとともに、地域住民の安全・安心の確保を図るため、老朽化した指令広報車を更新整備する。								
主要な事務・事業の概要	【指令広報車の更新整備】 配備先：網野分署 ※23年経過								
	○役務費			27千円					
	・自動車登録手数料、自動車リサイクル料			19千円					
	・自動車賠償責任保険			8千円					
	○備品購入費			5,687千円					
・指令広報車 1台									
○公課費			20千円						
・自動車重量税									
			成果・課題		○老朽化した指令広報車を更新し、消防力の充実・強化を図った。 ○今後も地域住民の安全・安心の確保を図るため、計画的に消防車両の更新、整備を行う必要がある。				

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部	
	項	01 消防費	70,519千円		70,549千円	30千円	99.9 %			
	目	03 消防施設費					(参考)当初予算額	課	総務課	
	事業	02 非常備消防施設等整備事業					76,942千円			
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	府補	地域防災力総合支援事業補助金			5,500千円	
目的	火災をはじめ風水害や地震などの災害発生時に迅速かつ的確に対処するため、年数が経過し老朽化した消防車両等を更新する。 また、消防団車両を格納するための消防車庫を更新整備する。				市債	消防自動車整備事業債（緊急防災・減災事業債）			33,000千円	
					市債	消防防災施設整備事業債（過疎対策事業債）			31,700千円	
主要な事務・事業の概要	【消防車両等整備】				38,752千円	【消防車庫等整備】				31,767千円
	峰山第5分団第1部（丹波） ※27年経過					掛津消防車庫（網野第1分団第2部）				
	網野第2分団第1部（北大路） ※24年経過					構造・面積：鉄骨造平屋建 41.44㎡				
	○役務費				102千円	○役務費				3千円
	・自動車登録手数料、自動車リサイクル料				87千円	・水道開栓手数料、水道工事検査手数料、設計審査手数料				
	・自動車賠償責任保険				15千円	○委託料				878千円
	○備品購入費				38,599千円	・工事監理委託料				
	・多機能型消防ポンプ自動車 1台 峰山第5分団第1部（丹波）					○工事請負費				30,840千円
	・多機能型小型動力ポンプ付積載車 1台 網野第2分団第1部（北大路）					○負担金、補助金及び交付金				46千円
	○公課費				51千円	・水道加入分担金				
	・自動車重量税									
						成果・課題	○令和7年3月31日現在、市は消防車両83台を所有しており、そのうち購入後20年以上経過しているものが29台あることから、今後も計画的な更新を行う必要がある。 ○老朽化の進む消防車庫について、防災拠点確保の観点から計画的な整備を検討する必要がある。			

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部
	項	01 消防費	2,633千円		3,100千円	467千円	84.9 %		
	目	03 消防施設費					(参考)繰越予算額	課	総務課
	事業	03 消防水利等整備事業（繰越）					3,100千円		
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実	主な財源	市債 消防防災施設整備事業債（合併特例債） 2,500千円					
目的	火災発生時に最も身近で有効な消火栓等の設置等を進めるため、緊急度及び地域の実情並びに地区要望等に基づき、消防水利及び消火栓備品等を更新整備する。								
主要な事務・事業の概要	○消火栓更新工事		2,633千円						
	大 宮：地上式1基（更新） 網 野：地上式2基（更新） 久美浜：地下式1基（更新）								
					成果・課題	地区要望や水道管の布設替えに伴い、老朽化した消火栓の更新工事を行うことで、地域の消防力を高めることができた。			

予算科目	款	09 消防費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	消防本部																														
	項	01 消防費	13,748千円		15,200千円	1,452千円	90.4 %																																
	目	03 消防施設費					(参考)当初予算額																																
	事業	03 消防水利等整備事業						15,200千円	課	総務課																													
基本計画		10 地域ぐるみによる消防・救急・防災体制の充実		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金（防災・減災基盤づくり事業）		1,400千円																															
目的	消火栓は、火災における有効確実な消防水利として、迅速かつ的確な消防活動を行うことができるため、計画的に更新整備を図るとともに、突発的な移設や撤去にも対応する。 また、老朽化した消火栓ホース格納箱など消火栓備品を更新し、地域の防災力を高める。	寄附金	ふるさと応援寄附金		600千円																																		
		市債	消防防災施設整備事業債（合併特例債）		9,500千円																																		
主要な事務・事業の概要	○需用費		689千円		○備品購入費（消火栓備品）		2,995千円																																
	・修繕料（消火栓・防火水槽修繕）																																						
	○工事請負費		10,064千円																																				
	・消火栓工事（11基）																																						
	<table><tr><td>区 分</td><td>設 置</td><td>数 量</td></tr><tr><td>更新（峰山町吉原）</td><td>地上式</td><td>2基</td></tr><tr><td>更新（峰山町五箇）</td><td>地下式</td><td>2基</td></tr><tr><td>更新（丹後町間人）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>更新（久美浜町栃谷）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>移設（網野町網野）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>移設（丹後町平）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>移設（久美浜町尉ヶ畑）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>移設（久美浜町平田）</td><td>地下式</td><td>1基</td></tr><tr><td>撤去（網野町網野）</td><td>地上式</td><td>1基</td></tr></table>		区 分	設 置	数 量	更新（峰山町吉原）	地上式	2基	更新（峰山町五箇）	地下式	2基	更新（丹後町間人）	地下式	1基	更新（久美浜町栃谷）	地下式	1基	移設（網野町網野）	地下式	1基	移設（丹後町平）	地下式	1基	移設（久美浜町尉ヶ畑）	地下式	1基	移設（久美浜町平田）	地下式	1基	撤去（網野町網野）	地上式	1基							
	区 分	設 置	数 量																																				
	更新（峰山町吉原）	地上式	2基																																				
	更新（峰山町五箇）	地下式	2基																																				
	更新（丹後町間人）	地下式	1基																																				
	更新（久美浜町栃谷）	地下式	1基																																				
	移設（網野町網野）	地下式	1基																																				
	移設（丹後町平）	地下式	1基																																				
	移設（久美浜町尉ヶ畑）	地下式	1基																																				
	移設（久美浜町平田）	地下式	1基																																				
撤去（網野町網野）	地上式	1基																																					